

寄せられた意見

No. 195

受付日	H18. 12. 7	年齢	57歳	居住 市町村名	名寄市
件名					

天塩川流域委員会御中

平成 18 年 12 月 7 日
名寄市 [REDACTED] (57歳)

先日、第 19 回天塩川流域委員会を傍聴しました。今まで、随分長い間委員会が開催されており、今回も、その行く末を案じたところです。

委員長から、「天塩川水系河川整備計画書 (原案) に関する意見 (案)」書が委員の皆さんに配布され、委員長、副委員長の説明のもと、議論がなされたことに安堵をいたしました。私は、この流域に住む者として、まずは治水に重点を置いた議論を最も望んでいるところです。そのため、意見書は治水対策を主にし、次に自然環境を守る方策を明記いただきたいと願うところです。委員の皆さんには、委員会において治水と環境を同列にしての議論をすることをいないで、まずは治水を第 1 に考え、そして自然との共生に対し、お互い知恵を出し合い、修正しながら進めていただきたいと思います。次回は、今回の議論を踏まえた上での委員会が開催されると聞いています。そこでは修正された意見書が委員長から提出されると思いますが、委員の皆さんには 19 回も議論した意見書でありますので、ぜひ、尊重をさせていただきたいと思います。たとえば、議論をしたとしても、ぜひ、治水対策に対し前向きな方向で、新たに環境に対する難題を出すことや、治水専門家の計算書にクレームをつけ、いたずらに長引かせることがないようにお願いいたします。

私どもこの地域で住む者は、なんといつても天塩川の治水が大事であります。治水があつてこそ安心して農業を営むことや工業生産ができ、商業活動ができるのです。そのためには、開発局は委員会の意見書を尊重し、できるだけ早期に川やダムなどの治水整備をしていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。